

府立支援学校に在籍する児童生徒の放課後等デイサービスの送迎に係る対応事例について

Case 1

支援学校の敷地内で十分なスペースを確保できない場合への対応



【対応事例】

- ◎支援学校近辺の有料パーキングの積極的な活用をしていただくこととしました。
- ◎時差下校にご協力いただき、お迎えの車両が一時に集中しないようにしました。
- ◎お迎えの車両が学校周辺地域に来ることができる時間を設定しました。
- ◎車両集中時に、路上に駐車せず、周辺道路を周回していただくようにしました。
- ◎保護者の同意のもと、通学バスの停車場所にて、お迎えをしていただくこととしました。



【主な取組みの成果】

- ◎学校周辺のお迎え車両の行列が減り、車両や歩行者が安全に通行できるだけでなく、子どもたちもより安全にお迎え車両まで移動できるようになりました。
- ◎周辺住民の皆さまからの苦情等が減少しました。
- ◎学校での「お迎え」にかかっていた時間が短縮されました（お迎え車両が早く出発できるようになりました）。

Case 2

支援学校と放課後等デイサービス事業者の皆さまとの 定期的な情報共有等の場の設定

【対応事例】

- ◎学校と事業者間で定期的に情報共有等を行う連絡の場（連絡会や協議会など）を設置しました。
- ◎これらを通じて、お迎えに係る車両の誘導などを学校と事業者との間で分担できるようにしているほか、放課後等デイサービス事業所による送迎計画の共有が図られるようになりました。



【結果】

- ◎お迎えの際のさまざまな課題を解決するための方法を共有できるだけでなく、支援学校と放課後等デイサービス事業者の皆さまとの間の連携・協力が進みやすくなりました。